

加藤 克之 議員 誠進会



問 ペアレントプログラムの成果は

答 保護者支援に役立っている

問 29年度の新規事業の一つ、ペアレントプログラムについて以下を問う。

研修の受講状況は。

答 児童課長 子どもの発達など子育てに、難しさを感じる市内在住の3歳から6歳までの子を持つ親を対象に、昨年9月から11月で計6回開催した。

問 受講者の反応は。

答 保護者からは講師が寄り添ってくれたと好評。保育士からは保護者支援に役立ったと聞いている。

問 30年度も継続すべきと考えるが。

答 日程は未定だが、30年度も継続して行う。



育所から1名ずつ受講し、療育のスキルアップを図った。

問 受講者の反応は。

答 保護者からは講師が寄り添ってくれたと好評。保育士からは保護者支援に役立ったと聞いている。

問 30年度も継続すべきと考えるが。

答 日程は未定だが、30年度も継続して行う。

問	若い世代の結婚生活支援を
答	婚活と連携しさらに拡充

問 結婚新生活支援補助金制度について以下を問う。取り組みの経緯、状況は。

答 秘書企画課長

総合戦略における基本目標の一つ「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の一環として、婚活など出会いの場の創出と連携し行うこととなった。2月末日までの申請件数は8件。

問 利用者の反応は。

答 好評である。わずかが経済的不安の軽減になったと考える。

問 30年度も継続すべきと考えるが。

答 継続する。上限は24万円から30万円に増額した。

問 市長の総括は。

答 市長 第2次総合計画にリンクさせていくためにも各施策を全力で取り組む。

